

平成27年度 学校関係者評価

学校自己評価システムシート (熊谷市立石原小学校)

目指す学校像 「夢と希望を育み 感動のある石原小学校」 人間性豊かで自己開発を目指す心身共に健康な児童の育成

達成度	A	ほぼ達成	(9割以上)
	B	概ね達成	(8割以上)
	C	変化の兆し	(6割以上)
	D	不十分	(6割未満)

出席者 学校関係者 4名
事務局(教職員) 3名

- 重点目標
- 『熊谷の子どもたちはこれができます!』『4つの実践』と「3減運動」の推進
 - 学力向上・体力向上のさらなる推進(「学力日本一」を目指して)
 - ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進
 - 積極的な生徒指導の推進「徹底的にかまってる」
 - 「命を大切に教育」の推進

学校自己評価

学校関係者評価

年度目標 年度評価(2月19日現在)

実施日 平成28年2月19日

番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 体力の全体の平均は県を上回っている種目が多いが、運動面に関して三極化(・運動をする子・特定種目だけの運動をする子・運動をしない子)が見られる。個々の体力向上が課題で自ら取り組めるように工夫したい。 交通事故0の推進、防止の徹底 大規模災害に備えた体制整備 	<p>基礎体力の向上</p> <p>交通事故防止</p> <p>危機管理の徹底</p>	<ol style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもに新体力テストの結果から体力向上のめあて(目標)をもたせる。 縦割り活動を計画実施する。 交通事故防止のための指導の徹底と交通安全意識の高揚を図る。(交通安全事故防止強化週間や自転車免許制度実施)安全マップを配布し、事故防止の意識を高揚させる。 大災害に備えた避難訓練や家庭との連携マニュアルの周知 	<ol style="list-style-type: none"> 児童に体力の目標をもたせ、家庭との連携が図れたか。体力貯筋の活用。 めあて達成に向け、児童に適切な支援・援助、具体的な取組ができたか。 交通事故防止に関する安全への高揚が児童・保護者に図れたか。ヘルメット着用児童の増加。 整然とした避難訓練が実施できたか。 	<ol style="list-style-type: none"> 新体力テストのデータを配布した。家庭との連携のための「体力貯筋通帳」を作成活用してきた。 掲示板を利用して効率化を図ることにより、充実した取組ができた。 朝会等で呼びかけたことにより、事故が減少した。ヘルメットの着用児童は昨年並み。 年間に6回の避難訓練を実施し、児童が整然として避難できた。小中合同登校訓練や竜巻を想定した避難訓練を実施。 	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 共通指導内容が徹底されているか児童へアンケート調査する。 校内での秩序を登下校時でもできるように、強化期間を設け、児童に意識づける。 ヘルメット着用の啓発をPTAと連携し繰り返し行う。 家庭で被災した場合に学んだことが生きるように、マニュアルを見直し、様々な避難の方法や対応を保護者と共有する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 学力の個人差が大きく基礎基本の学力が身につけていない児童もいる。 読書については、比較的良く取り組まれているが、家庭学習の習慣が身につけていない児童も見られる。 	<p>学習の基礎基本の定着</p> <p>読書活動の推進</p>	<ol style="list-style-type: none"> 児童の実態を把握し、実態にあった年間指導計画を整備する。 1単位時間の学習内容を明確にした授業を展開・計算の定着を図る。 学習規律の徹底を図る。特に、姿勢・鉛筆の持ち方や学習の約束を徹底する。 板書計画を立て工夫改善し、ノート指導の徹底する。 学級文庫の充実を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 計画的に職員研修を進め、児童の実態を踏まえた実践を行い、年間指導計画が改善されたか。 毎時間の学習内容の定着を意識した取組が、各授業で展開されたか。 学習規律の徹底と繰り返し姿勢や鉛筆の指導ができたか。 ノート指導の共通確認事項が実践できたか。 学級文庫の整備充実が図れたか。 	<ol style="list-style-type: none"> 全員で年間指導計画を見直し、発達段階に即した計画となっている。 発問の仕方や板書の工夫を意識した授業を実施。3つの達成目標・「計算」の達成率98.70%、「読む書く」98.22%達成。 1年生の指導を徹底した。 共通したノート指導を実践 図書室から教室へ本を移動する等整備が進んでいる。 	<p>B</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画が活用されるようにするため、担当を分担し、適時介入を行うようにする。 今年度から基礎基本の定着のため昼休みの時間等で補充学習を行った。さらに時間や内容の充実を図る。 来年度も又、各家庭へ呼びかけ協力を依頼する。 引き続き学習の約束等石原小の約束を徹底し6年間を見通した指導を行う。
3	<ul style="list-style-type: none"> 礼儀正しくけじめのある生活ができている児童が多いが、検証結果から、 低学年：ありがとう・ごめんなさいを言うや、整理整頓が非常に低い。(後始末) 中学年：授業前の学習用具の準備(約束きまり) 高学年：先生や友だちの話をしっかり聞き発表する。 	<p>基本的な生活習慣の定着</p> <p>豊かな心の育成</p>	<ol style="list-style-type: none"> 道徳授業の学習内容の配信と家庭と共有する工夫を図る。授業参観で、道徳授業公開。 障害のある児童の理解と自己実現の支援を図る。人権週間の効果的指導。(人権擁護委員の活用) 「返事 あいさつ 後始末」の徹底を図る。 熊谷市4つの実践・3減運動の啓発を図り、保護者の協力を得る。(強化週間設置) 	<ol style="list-style-type: none"> 道徳の授業を35時間以上実施できたか。 道徳授業の授業参観での公開、互いに認め合う人間関係づくりの指導・支援ができたか。 人権意識が高まったか。 「返事・あいさつ・後始末」の約束や決まり事を守らせることができたか。 4つの実践と3減運動の具体的な取組により、児童の自覚が高まったか。 	<ol style="list-style-type: none"> 計画通り実施できている。 授業参観で公開し、内容について家庭に知らせた。 「石原小いじめ撲滅宣言」をし、また月ごとにいじめアンケートを行い、早期発見・対応・指導をする中で人権意識の高揚を図った。 おおむね良好。 年間2回家庭と連携し、強化週間を設定し取り組めた。 	<p>A</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「私たちの道徳」を活用するなど、さらに道徳的実践力の見える化を推進する。 アンケートに加え、保護者の教育相談を毎月毎に位置づけ、保護者からの情報も得ていく。 あいさつが課題である。 来年度も、強化週間を設定し実践していく。4つの実践について啓発を図る。
4	<ul style="list-style-type: none"> 学級懇談の出席率向上のための継続的な工夫と改善。 学校のホームページ等から情報をタイムリーに発信すると共に、学校だよりを自治会へ回覧する事によって地域に広く配信していく。 	<p>保護者・地域住民等との連携</p> <p>学校応援団の活用</p>	<ol style="list-style-type: none"> 学級懇談を全校で一斉に開催し、参加率と懇談会の出席率を増やす。 HP、学校だより等による情報配信を活性化させる。 学校行事の積極的な公開とアンケートを実施する。 文教地区としての施設の積極的な活用と学校応援団の地域人材の活用と交流を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 全校一斉授業の内容の充実を図る。 HPのアクセス数で確認並びに更新数の状況を把握する。 PTA理事会時の校内巡視やアンケート調査を実施しフィードバックする。 学校応援団の人材活用が積極的にでき、成果は上がったか。 	<ol style="list-style-type: none"> 大原中・熊高合唱部による合唱、荒川中吹奏学部の演奏おもしろ実験等を実施。 タイムリーに更新した。更新回数もかなり増えた。 定期理事会にて実施し、意見を参考に改善すべきもの等早い対応ができた。 国体陸上選手・熊高生による陸上指導、サマースクールでのボランティアによる補充学習を実施。 	<p>A</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参加率は各学級90%以上の参加率である。更に参加を呼びかけ、懇談会の出席者を増やしたい。 PTA理事会時に、アンケートの結果報告と、取組を説明する。 新たな体験学習や交流を計画していく。(農作業体験等)

学校関係者からの意見・要望・評価等

- 持久走大会を参観させていただきました。1年生から6年生まで、みんな一生懸命に取り組んでいて、スムーズに流れていました。体育科を研究している成果が表れていると思います。
- 三極化の課題にそれぞれ対応した施策と評価を行っていただきたいです。
- 平均的な底上げも大事ではありますが、対象を決めた対策と成果、評価を行うことが大切であると考えます。石原小は児童数が多いので、平均をあげるのもたいへんである。そこで低位の児童にターゲットを絞って、底上げをしていくことも一つの手段だと考えます。
- 警察・教育委員会・PTAとの連携を図り、子ども達が犯罪に巻き込まれないようにお願いします。
- 前回の評議委員会の資料を読み直してきましたが、学習に関して具体的な指導の方法に取り組んでいるので、その成果が表れていると思います。
- 授業を見させて戴き、先生も子どもたちも、活気があってよかったです。
- 授業の問い方、テストのあり方を見直すことも大切であると思います。
- 課題として学力の個人差の解消や家庭学習の習慣化などに対して、対策と取組を行っていただきたい。
- 全国学力・学習状況調査において、算数、理科の向上を期待しています。中学に入ると更に難しくなるので、学力向上の取組をお願いします。
- 掲示物が教室の中、外ともに充実しています。写真がたくさんあって良いです。
- 低学年の姿勢や足の位置が気になるので、指導を継続していただきたい。
- 学級崩壊など全く見られず、感心しています。先生方も児童を尊重し、寄り添った指導をしていると感じます。
- 看護学校の戴帽式に参加していただきありがたく思います。厳かな式であり参加児童もたいへん喜んでくれます。最近では男子も参加してくれます。
- 懇談会参加率90%は満足してよい数値であると考えます。
- 小中の交流があつたいへん良いと思います。熊高、熊農だけでなく、更に熊商、熊工との交流も行えるとよいと思います。